

【交流協会台北事務所主催】2012年度第2回中等教育機関日本語教師研修会

「楽しく授業ができるいろいろな試み」

— 聞き取りのタスクを中心にして —

2013年2月28日

講師：洪淑娟

本研修会では、前半で、アフレコ活動、聞き取りのタスクの紹介を行い、後半は、ワークショップ、意見交換などを行いました。

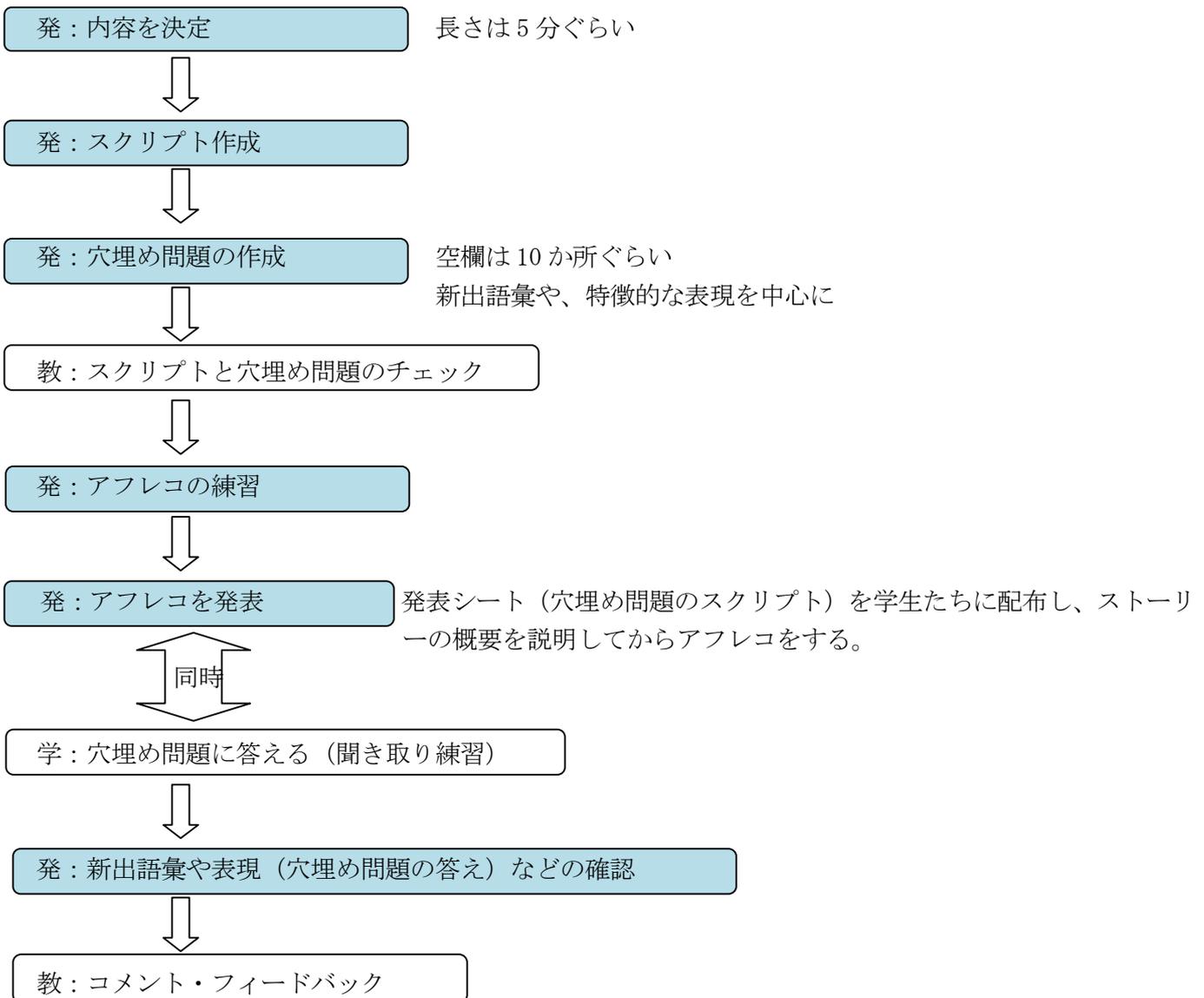
(1) アフレコ活動の紹介

まず、大学で実際に行っているアフレコ活動を紹介させていただきました。アフレコ活動ははだいたい以下のような流れで進めています。

発：発表者

教：教師

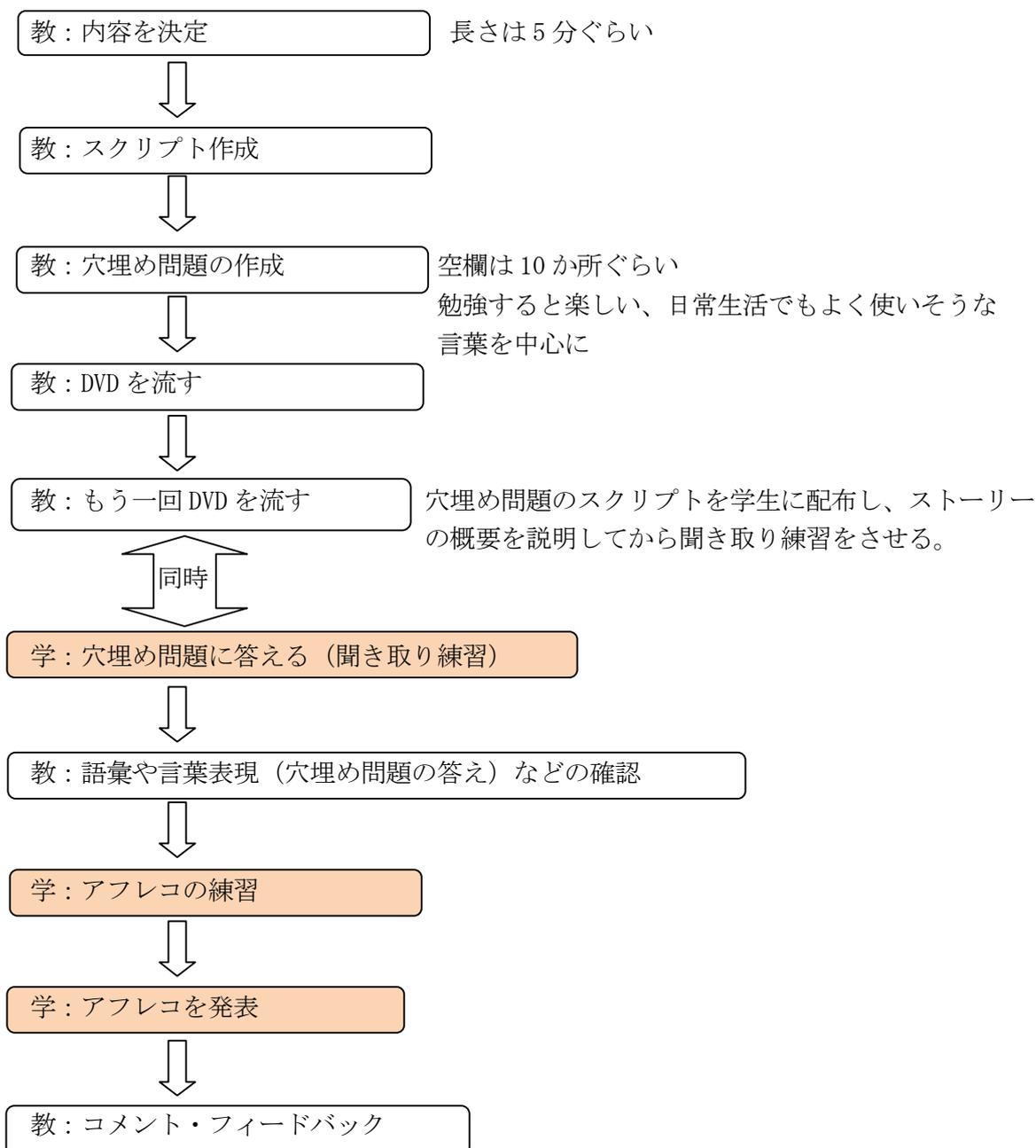
学：学生たち



大学生からは自分が参加できて面白かったという感想が多かったです。高校生の場合も、アフレコを授業に取り入れることで、楽しく勉強ができ、学習意欲も高められるでしょう。本研修会では、高校生もよく知っているアニメ（『ちびまる子ちゃん』）を使って先生方と一緒にアフレコ活動を体験していただきました。しかし、高校生の学習者と大学生の学習者では、日本語レベルや日本語の学習動機などは違いますので、やり方は調整しなければなりません。たとえば、高校生学習者には映像の音声を聞いて文字化してスクリプトを作成することはまだ難しいと思われます。ですので、内容の選択やスクリプトの作成などは教師がすることになります。流れも以下のように調整していくと無理がなくなるでしょう。

教：教師

学：学生たち



高校生の学習者向けアフレコの試みや実際に行う場合に困難な点、よりやりやすい方法についても、先生方と意見交換をしました。高校生の学習者には少し難しい活動かもしれませんが、教師側が工夫すれば活気あふれる授業になると思います。

(2) 聞き取りタスクの紹介

簡単に授業で取り上げられそうなタスクを紹介・体験させていただきました。

① 伝言ゲーム

レベル：『みんなの日本語』初級I終了程度

用意する物：文字カード（単語カード）（図1）

上記の教科書から40個ぐらいピックアップしたもの

方法：グループごとに、1～2人が文字カードをもとに文を作り、その文をほかのメンバーに伝えていく。

目標：作文能力、正しく話し聞き取る能力



(図1)文字カード、単語カードの例

② 『エリンが挑戦！にほんごできます』を使って



WEB版 <https://www.erin.ne.jp/>

素材：『エリンが挑戦！にほんごできます』国際交流基金
第8課（注文する ファーストフード）

